

多摩六都広域連携プラン (令和8(2026)年度～令和12(2030)年度)



令和8(2026)年3月

多摩北部都市広域行政圏協議会
小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市

プランを推進するための方策

6つの取組のテーマのそれぞれの取組の内容について、本協議会に設置する分野別の専門委員会などによって、計画的に取り組んでいきます。

専門委員会などによる取組について、毎年度の活動報告として取りまとめ、協議会が進捗状況を把握し、評価を行っています。あわせて、取組に関する情報発信を積極的に行っています。

各市が本協議会以外で連携する分野については、その組織と情報共有を進めます。

また、現在、連携がない分野における新たな連携の可能性を模索していきます。

プランとSDGs

持続可能な世界の実現に向けて、地方自治体も、地域の住民や企業・団体の他、国や他の自治体など、様々な主体と連携してSDGsの取組を進めていくことが重要です。

SDGsの考え方は、5市が連携・協調して共通の課題に取り組むという、本プランの趣旨に合致していることから、本プランに掲げる取組をSDGsの視点をもって推進していきます。



<多摩北部都市広域行政圏協議会とは>

地理的、歴史的、行政的につながりの深い多摩北部地域の5市(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市(旧田無市・旧保谷市))が、都市基盤や良好な住宅環境地域としての整備などの都市的行政課題に対して、相互に協力し広域的に対応するため、昭和62(1987)年1月に設置された協議会です。

多摩六都広域連携プラン（令和8（2026）年度～令和12（2030）年度）【概要】

策定の趣旨

多摩北部都市広域行政圏協議会では、平成23（2011）年度以降、5市による連携・協力が期待できる行政分野に関する多摩六都広域連携プラン（多摩北部都市広域行政圏計画）を策定して、プランに基づいて広域連携事業を展開してきました。

近年、本圏域を取り巻く社会状況は大きく変動しています。少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少するなか、行政に求められる課題はますます多様化、複雑化し、限られた経営資源で持続可能な行政サービスを展開することが求められています。

このような社会背景の中、これからも5市が連携・協調し、広域的な視点による取組を進めていくため、令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間を計画期間とする多摩六都広域連携プラン（第五次多摩北部都市広域行政圏計画）を策定します。

圏域を取り巻く状況

- ① 圏域における人口動向と将来の見通し
 - ・人口減少が進み、令和7（2025）年の約75万4千人から令和32（2050）年には約73万6千人へ減少見込み※
 - ・年少人口、生産年齢人口が減少する一方、高齢人口は増加
- ② 人口減少による社会変容
 - ・だれもが活躍できる社会に向けた、多様な働き方が選択できる環境整備などの必要性
 - ・人口減少と少子高齢化の進行に伴う経済・産業活動の縮小と行財政への影響
- ③ 地球環境の変化
 - ・気候変動や大規模災害等への対策
- ④ デジタル社会の実現
 - ・持続可能な形で行政サービスを提供していくための大きな変革
- ⑤ 持続可能な圏域づくりに向けて
 - ・「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた、さまざまな取組の実施

※国立社会保障・人口問題研究所（令和5（2023）年推計）による

圏域の将来像とプランの体系

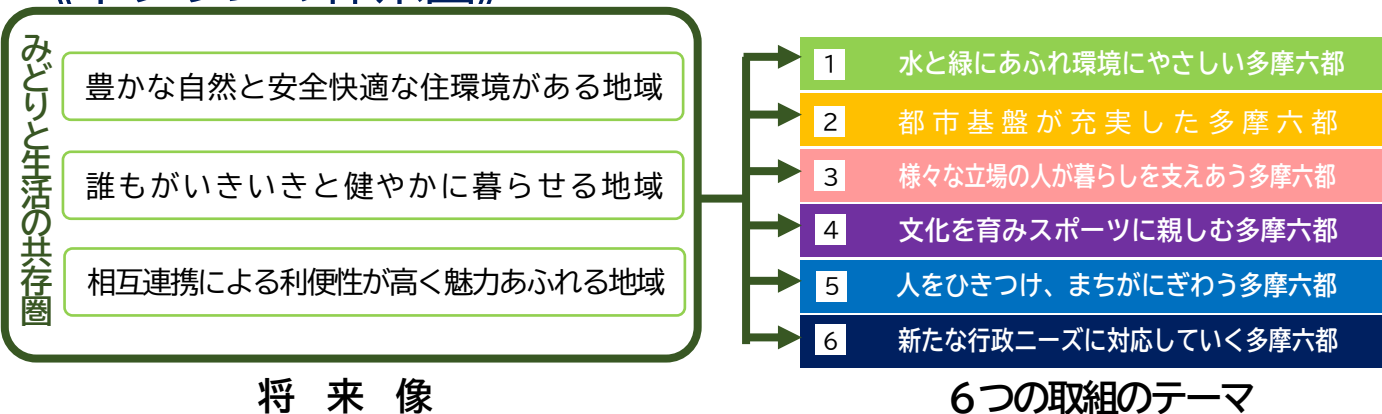
本圏域は、武蔵野の面影を残す雑木林や屋敷林、農地などの風景が残されており、河川や湧水、用水路などの水辺や公園・緑地の整備も進んできました。また、都心へのアクセスに優れ、多くの人々が住み、安心した暮らしとふれあいのある生活の場として成長してきました。

本広域行政圏では、昭和63（1988）年の最初の広域行政圏計画策定時から、圏域の将来像を「緑と生活の共存圏」※としています。

本プランにおいても、引き続き、「みどりと生活の共存圏」を圏域の将来像を示すシンボルテーマとするとともに、3つの地域の姿を示します。また、これらの将来像を具現化していくため、5市が連携・協調し目指していく6つの「取組のテーマ」を設定します。

※平成23（2011）年の多摩六都広域連携プランから「緑」を、水辺環境を含めた総称の「みどり」に改めています。

《本プランの体系図》



6つの取組のテーマ

6つの取組のテーマに沿って、現状と課題、目指すべき方向を示すとともに、14の内容を設定しています。

本プランが、5市が連携して行う施策の方向性を示すものであることを踏まえて、協議会の取組のほか、各市の取組状況を情報共有するとともに、新たな連携に向けて、調査・研究を行っていきます。

1 水と緑にあふれ環境にやさしい多摩六都

- 1-1 都市計画公園・緑地の整備に向けた取組
- 1-2 みどりの効果的な保全と活用
 - 1-2-1 みどりの保全の推進
 - 1-2-2 魅力ある公園づくりに向けた取組
 - 1-2-3 都市農地の保全と活用
- 1-3 地球温暖化対策の推進
 - 1-3-1 圏域住民の資源循環活動の啓発
 - 1-3-2 ゼロカーボンシティ実現に向けた取組

2 都市基盤が充実した多摩六都

- 2-1 道路整備事業の着実な促進
- 2-2 鉄道輸送の円滑化の促進
 - 2-2-1 連続立体交差事業の推進鉄道利便性の向上
 - 2-2-2 鉄道駅の安全性及び利便性の向上
- 2-3 コミュニティバス等の地域公共交通の円滑化の促進

3 様々な立場の人が暮らしを支えあう多摩六都

- 3-1 地域保健医療施策における連携
- 3-2 誰もが暮らしやすい多様性に富んだ地域づくり
 - 3-2-1 地域共生社会への広域での取組
 - 3-2-2 多文化共生社会の実現に向けた広域での取組
 - 3-2-3 多摩全生園「人権の森」構想の実現に向けた支援と人権意識の啓発

4 文化を育みスポーツに親しむ多摩六都

- 4-1 多摩六都科学館の魅力向上
 - 4-1-1 多摩六都科学館の効果的・効率的な運営支援
 - 4-1-2 地域連携の促進
- 4-2 共催事業・施設相互利用の推進
 - 4-2-1 多摩六都フェアの実施
 - 4-2-2 図書館の相互利用の促進
 - 4-2-3 圏域スポーツ活動の推進

5 人をひきつけ、まちがにぎわう多摩六都

- 5-1 多摩六都の産業・観光の魅力向上
 - 5-1-1 多摩六都の地域資源の活用
 - 5-1-2 圏域内の地域ブランドの普及促進
 - 5-1-3 企業等との連携によるまちのにぎわいや経済循環の創出
- 5-2 情報発信の強化

6 新たな行政ニーズに対応していく多摩六都

- 6-1 行政サービスに関する広域連携の研究
 - 6-1-1 広域的な視野での公共施設マネジメントの研究
 - 6-1-2 人材確保や育成に関する連携の研究
 - 6-1-3 災害への対応における圏域内の協力
- 6-2 自治体DXの推進に向けた連携